

江田氏離党

野党再編に拍車

維新からは歓迎の声

今夏の参院選以降、渡辺喜美代表と江田憲司氏の対立が激化していた、みんなの党。「党内政局」が常態化し、8月に幹事長を更迭された江田氏の離党は当然の帰結だった。

(大槻 和久) Ⅱ本記1面に

対立の根底には政界再編をめぐる考え方の違いがあった。渡辺氏ら執行部は党

存続を前提に、連立政権を目指す「政党ブロック」を党方針に決定。一方で江田氏は党の発展的解消も辞さない立場で、9日の離党会見でも「われわれが触媒となり、真の改革勢力の結集を成し遂げる」と強調した。

10日には民主党の細野豪志前幹事長、日本維新の会の松野頼久国會議員団幹事長らと、既得権益打破に向けた勉強会を設立。江田氏が離党、新党結成に踏み切ったことで、両党を巻き込

もこれを後押しした。江田氏の同調者は13人以上、同氏周辺は「さらに

統一選 県議や市議に衝撃

「何かの間違いだったらいいと思う」。江田憲司氏(衆院8区)ら国會議員

計14人が離党届を提出し、分裂の危機に陥ったみんなの党。同党の県内地方議員には、江田氏らを批判する意見と一定の理解を示す見方が交錯。すでに同調して離党する意向を固めた地方議員も複数おり、統一地方選を1年半後に控えた中で、県議や市議は衝撃を隠せずにいる。

続く者がいる」「江田新党も暫定的。目指すは自民1強に対抗する大掛かりな再編だ」と鼻息が荒い。早速、維新幹部からは「江田氏に大義がある。民主の一部の動きにも期待している(橋下徹共同代表)」「野党再編の幕開けになれば」(松野氏)などと歓迎のメッセージも届く。

ただ、維新には江田氏が「離婚してもらわなくてはいけない」とする石原慎太郎共同代表ら旧太陽の党系の議員もいる。江田氏周辺からはこんな声も聞かれる。「真の野党再編を目指すなら、石原さんとも手を組むくらいでないと。江田さん自身も変わらないといけない」

で党の中心。その江田さんが離党するのは残念」と惜しんだ。

が離党の意思を固めた。そのうちの一人、赤野孝之(横浜市青葉区)は「今の党は結党の原点を忘れてしまった。結論ありきで、党内のさまざまな意見すら聞かない」と指摘。伊藤大貴横浜市議(同市緑区)は「特定秘密保護法をめぐっても、党内で開かれた議論が行われたとは思えなかつた」と党運営を批判した。

県内で高い支持を受け、党の「看板」をバックに当選した議員からは、江田氏という「顔」がなくなることを懸念する声もある。県央地区の地方議員は「神奈川県では江田さんと浅尾幹事長の2人が中心に動き、選挙のたびに支持を広げ票を伸ばしてきた。その江田さんが抜けるとは…」と、今後の影響を測りかねた。

江田氏が離党届を出した9日、複数の県内地方議員を裏切ることになる。もう少し考えてほしかった。友田宗也藤沢市議は「基本的

動向 9日

安倍首相 【午前】9時28分、官邸。47分、小野寺五典防衛相、徳地秀士防衛省防衛政策局長。10時25分、田村憲久厚生労働相、柴田厚生労働審議官ら。11時33分、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰式。47分、宗像紀夫内閣官房参与。59分、高木幹正日本歯科医師連盟会長。

【午後】1時29分、国会。30分、衆院の伊吹文明議長、逢沢一郎議院運営委員長、与野党各会派に会いさつ回り。2時3分、参院の岩城光英議院運営委員長ら、与野党各会派に会いさつ回り。20分、官邸。45分、岡崎久彦元駐タイ大使。51分、公邸。自民党の月刊女性誌「りぶる」掲載用の歌手由紀さおりさんとの対談。3時45分、官邸。

状況を解説した。ある県議は、現時点で離党は考えていないと前置きしながらも、「江田さんと民主、維新の一部がどう連携

残留組 比例当選者を批判

みんなの党所属の県内選出国會議員は、衆参合計7人のうち衆院3人が離脱する。党に残る議員は「比例代表の議員は党への票で当選している」と、離党者への批判を強めている。党国民運動委員長の松沢

も党運営を反省すべきだが、党内で改善、発展に努力するのが第一」と指摘。政界再編のあり方については「何をやるかの旗や大義がないといけない。自分には党で責任を果たしていく」と述べた。